

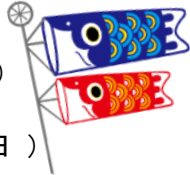
みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2026年5月1日号 242号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【5月の予定】

- ◆5月9日（土）（雨天翌日）
 - ・さくら広場草刈り
- ◆5月23日（土）（雨天翌日）
 - ・南斜面草刈り
- * 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆5月2日（土） 10:00～12:00
 - ・やまゆ連・手作りカフェー
平和台集会所



問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※※※

4月11日（土） 晴 参加者 9名

今日の作業は、ムベの棚の整備、キンランの観察会、それに会員から提案のあった自然の野草、雑草の観察地をつくることでした。

観察地は約たたみ4枚くらいの区画を耕して、そのままにも手を加えないでずっと様子を見ることにするという初めての試みです。

作業終了後、会員を増やすためのチラシ作りの相談を前回の作業日に引き続きおこないました。



（設楽）

アミガサタケ

【緑地に咲く】ホトケノザ（仏の座）



ホトケノザにはすくくと伸びた赤紫色の花が咲いている。小さい花だが先端部をよく見ると、形はとても複雑だ。唇のようにパカッとあいた上唇。下唇は下に向かって張り出してハート形を作っている。

葉っぱにはところどころ、赤紫色の粒状のものが見える。これは閉鎖花と呼ばれるもの。ここにも植物たちの生き残りかけた戦略がある事に舌をまく。ありふれた野草でも決して侮れない、力強い存在であることに気づかされる。

（上野）

4月25日（土） 曇り 参加者 7名

最近汗ばむような日があったが、今日は日差しがなく屋外作業に最適だった。キンランなどが咲いてきたので、初めに植物の観察会をした。その後、花広場の整備で、通路を刈払い機や鎌で伸び始めた草を刈り取る。これからは伸びる草との競争の日々になる。草たちは生存のために、もう実を付けているものもある。こうやって生育域を広げていくのだろう。昨年までは見られなかった植物もあり、どこから、どうやって来たのかと不思議に思う。また昨年咲いたひまわりの種をまく。夏に花広場に黄色の花が咲くのが楽しみだ。

最後に中央広場の草イチゴがたくさん実をつけたので、お茶の時に食べる。ほのかな甘みがあり、うれしくなる。

新しい人を誘うチラシの案を話し合う。この緑地が少しでも長く人々の憩いの場所であり続けるために、かかわる人がふえてほしいと願う。

（宇野）

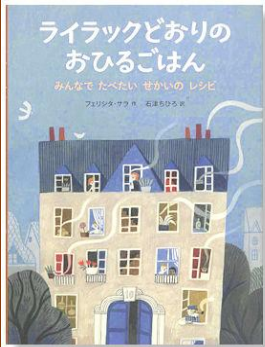
クサイチゴ

【緑地を楽しむ本】

『ライラックどおりのおひるごはん』

フェリシタ・サラ 作 石津ちひろ 訳

BL出版



ライラックどおり 10ばん
ちの たてものから、いい に
おいがたよってきます。この
たてものには、いろんな国の人
が暮らしているようです。スペ
イン、中国、メキシコ、中南米、
イタリア・・・そして日本の
「イシダさん」もいます。

どうやら みんながお国の料理を作っていま
す。スペインのピラールはトマトの冷製スープ
「サルモレホ」、中国のムッシュー・ピンはブ
ロッコリーごましょうゆ味「ちいさなもり」、
メキシコのマリアはアボカドのディップ「ワカ

モレ」・・・日本のイシダさんは「親子どん
ぶり」です。

出来上がったら、庭に大きなテーブルを出
して、みんなで持ち寄りのおひるごはんです。
「みんなで たべたい せかいの レシピ」
と副題にあるとおり、それぞれの料理の材料
と簡単な調理法が紹介されています。それほ
ど 独特な材料はないようなので、作れそう
なものばかりです。スイーツもありますよ。

桜が終わり、いまは新緑がまぶしい季節。
青空の下でごはんを食べたくなります。

(遠藤)

【やままゆ連・手作りカフェ】

ムギ藁の馬

4月4日(土) 10:00~12:00

平和台集会所

晴れたら近所お花見散歩の予定でしたが、
あいにくの曇天で、間もなく雨になってしま
いました。

今日は、麦わらの馬の細工を目指しますが、
いきなりは難しそうで、まず紙で練習しまし
た。テープ(5ミリ×30cm位)状に切った
紙を5本用意します。その5本のテープを組
み合わせて織り込み進むと、あら不思議!
いつの間にか、馬の形になっていきます。
前足、後ろ足、耳、尻尾をハサミで適当な長
さに切って、完成です。

最初は、5本のテープのどれが足や耳、尻
尾になっていくのか、訳が分からなかったの
ですが、繰り返して練習するうちに、少しづ
つ形が見えてきました。麦わらで作ってみる
人もいましたが、乾燥しているので、折れて
しまい、持ち帰って少し湿らせてから挑戦す
ることになりました。

馬の形が面白くて、私も家で麦わらに挑戦
しました。可愛い、元気な子馬が出来ました。

秋田ではイタヤカエデ細工の馬があるそう
です。

カフェの時、絵本『ぼくのこえがきこえま
すか』(田島征三作 童心社)の紹介をしま
した。心に残る反戦の絵本です。

カフェメニュー：ツクシのトッピングのケー
キ、わらび餅など。

(桑原)



左：藁の馬 右：紙の馬

緑地に生きる



カラスアゲハ：黒っぽいアゲハですが、飛んでいると青っぽく光って見えます。



クロハネシロヒゲナガ：名前の通りの白くなが～い髭！何のため？ 雌のフェロモンを効率的にキャッチするのでしょうか。

【緑地の樹】

コデマリ

プロフィール：バラ科シモツケ属(落葉小低木)

花広場の入り口に、白い花が咲いていました。コデマリです。

コデマリは、小手毬と書きます。なんともかわいい名前をつけて貰ったものですね。小さな手毬に見立てられたのは、実はもっとずっと小さな花がいっぱい集まったものです。一つ一つの花は、白い5弁の、梅のような花で、雄しべがぴんぴんと立っています、真ん中には黄色い蜜腺があり、きっとおいしいのでしょう、虫たちがよく訪ねてきています。

コデマリの花があったら、裏から覗いてみてください。花の柄が放射状に出ている様子は、まるで傘の骨のようですが、ずっと多いのです。こんなにいっぱい出ているのに、こんがらかったりしないのだと変なところに感心してしまいます。

(小川)

